

君津地域水道事業の統合広域化について

君津地域水道事業統合協議会

1

1 はじめに

木更津市、君津市、富津市及び袖ヶ浦市の四市と君津広域水道企業団では、平成25年10月17日に締結した「君津地域水道事業統合・広域化に関する覚書」に基づき、四市と企業団の5団体の首長で構成された君津地域水道事業統合協議会を立ち上げ、統合広域化に向けた基本計画の策定と協議検討を進めてきました。

この結果、現在の企業団が千葉県と4市へ水道用水を供給していることから、新たな経営主体として、この5団体を構成団体とした広域連合を設立し、統合した四市水道事業と水道用水供給事業の2つの事業を行うこととして基本計画を策定し、10月30日に「君津地域水道事業の統合広域化に関する基本協定」を締結しましたので、本日、この場をお借りしてご紹介させていただきます。

2

2 君津地域の紹介



事業体名	人口 (単位:人)	面積 (単位:km ²)
木更津市	134,281	138.94
君津市	85,473	318.81
富津市	45,231	205.53
袖ヶ浦市	61,069	94.93
四市合計	326,054	758.21

人口: 毎月常住人口調査(平成28年4月1日現在)
面積: 国土交通省国土地理院(平成26年10月1日時点)

3

3 検討の経緯

平成18年度

- 「県内水道経営検討委員会」からの提言(平成19年2月)
県内水道事業体について、今後20年以内に一事業体化を目指していく提言がなされる。

平成19年度
～
平成22年度

- 「君津地域水道事業のあり方検討会」による検討
「県内水道経営検討委員会」からの提言を受けて、四市水道事業及び企業団による検討を行う。

平成23年度
～
平成24年度

- 「君津地域水道事業統合研究会」による検討
県水道局と県総合企画部水政課を加え検討を行う。
「君津地域水道事業統合広域化基本計画書(案)」を取りまとめる。(平成24年度)

平成25年度

- 覚書の締結(平成25年10月17日)
基本計画書(案)を基に、四市首長及び企業団企業長は統合・広域化の方向性に合意し、統合広域化基本計画の策定、協議検討を進める覚書を締結した。
●君津地域水道事業統合協議会、同幹事会、同専門委員会の発足(平成26年2月14日)

平成26年度
～

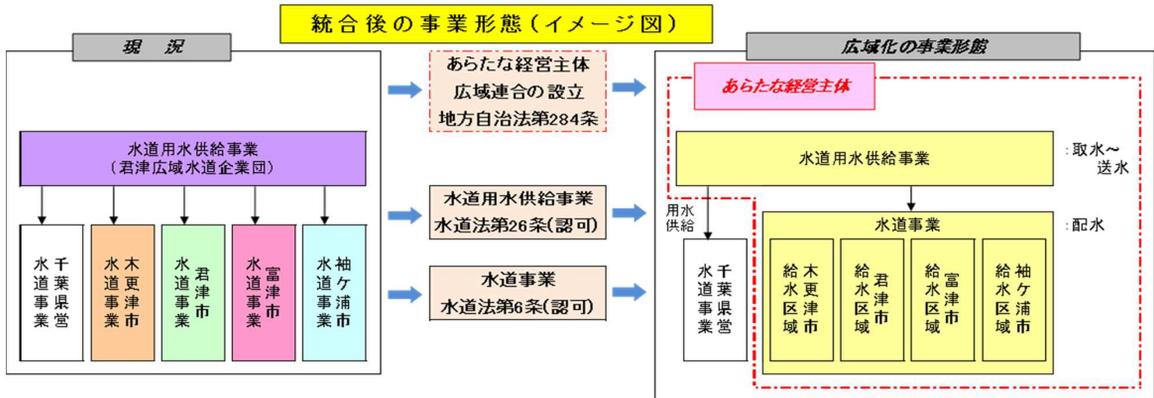
- 企業団内に君津地域水道事業統合協議会事務局を設置(各市職員を1名派遣)
- 「君津地域水道事業統合広域化の検討成果」を取りまとめる。(平成27年度)
- 君津地域水道事業統合協議会に千葉県が参画(平成29年5月)
- 「君津地域水道事業統合広域化基本計画」を策定(平成29年10月19日)
- 「君津地域水道事業の統合広域化に関する基本協定」を締結(平成29年10月30日)

4

4 統合の形態（広域連合の設立）

水道用水供給事業と水道事業は、水道法上は別認可となるため同一の種類の仕事とみなさない。
 地方自治法上、同一の種類ではない仕事を共同処理できる複合の一部事務組合は、市町村及び特別区に限定されており、県は除外されている。

地方自治法第284条の規定により、広域連合を設立する。



5 四市の状況

木更津市

- 施設・管路とも老朽化が進んでいる。
- 塩ビ管370kmなどの更新が必要。
- 有効率は87.4%である。
- 配水池の耐震化率は8.2%である。
- 人口が最も多く収益力が高い。
- 企業債比率も低いため、健全な経営状況。
- 有効率を向上させるためには更新事業を現状より増やす必要がある。

君津市

- 施設・管路とも老朽化が進んでいる
- 石綿管119km、塩ビ管353kmの更新が必要。
- 有効率は86.6%である。
- 配水池の耐震化率は0.0%である。
- 平成28年度の料金上げにより黒字を確保できるが、人口減少に伴い数年以内に料金収入が減少。
- 料金収入で事業運営に必要な費用を十分に賄っているとは言えない。
- 企業債比率も高め。
- 更新等に必要な資金の確保が困難となる。

富津市

- 施設・管路とも老朽化が進んでいる。
- 石綿管115km、塩ビ管114kmの更新が必要。
- 有効率は88.0%である。
- 配水池の耐震化率は11.5%である。
- 水道料金は四市の中で一番高い。
- 料金収入で事業運営に必要な費用を十分に賄っているとは言えない。
- 更新等に必要な資金の確保が困難となる。
- 企業債比率も高めのため、経営状況が厳しく改善が必要。

袖ヶ浦市

- 四市で最も施設更新が進んでいる。
- 一部に残る石綿管・普通铸铁管の解消を進めている。
- 有効率は93.5%である。
- 配水池の耐震化率は100.0%である。
- 料金抑制のため、一般会計から繰り入れがあり、水道料金は四市の中で一番安い。
- これまで施設整備を積極的に行ってきたことで、施設整備水準は高いが企業債の残高が多い。
- 既に損益赤字が発生しており、適正な料金設定が必要。

6 基本計画の方針

(1) 統合時期：平成31年4月

(2) 基本計画の期間：統合から20年間（平成31年度～平成50年度）

(3) 施設整備計画

①施設の統廃合事業：配水池3箇所を整備のうえ水源29箇所、浄水場及び配水場9箇所を廃止する。

②管路の更新事業：有効率95%を達成するものとする。

③施設設備の更新事業：更新周期と施設の統廃合を考慮しアセットマネジメントで検討する。

④耐震化事業：重要度を勘案した計画を策定する。

⑤管理設備集約事業：庁舎・管理棟や集中監視設備を集約する。

7 水需要予測

【実績】

水道事業	平成27年度
木更津市	37,770
君津市	23,326
富津市	12,645
袖ヶ浦市	17,671
合計	91,412

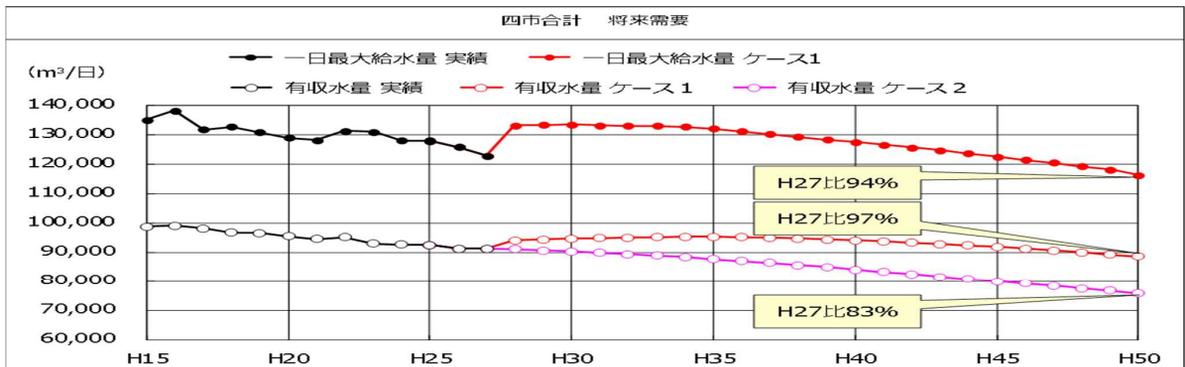


【予測】 (単位: m³/日)

平成50年度	対27年度比
34,853	92.3%
17,302	74.2%
8,629	68.2%
15,083	85.4%
75,867	83.0%

有収水量の減少

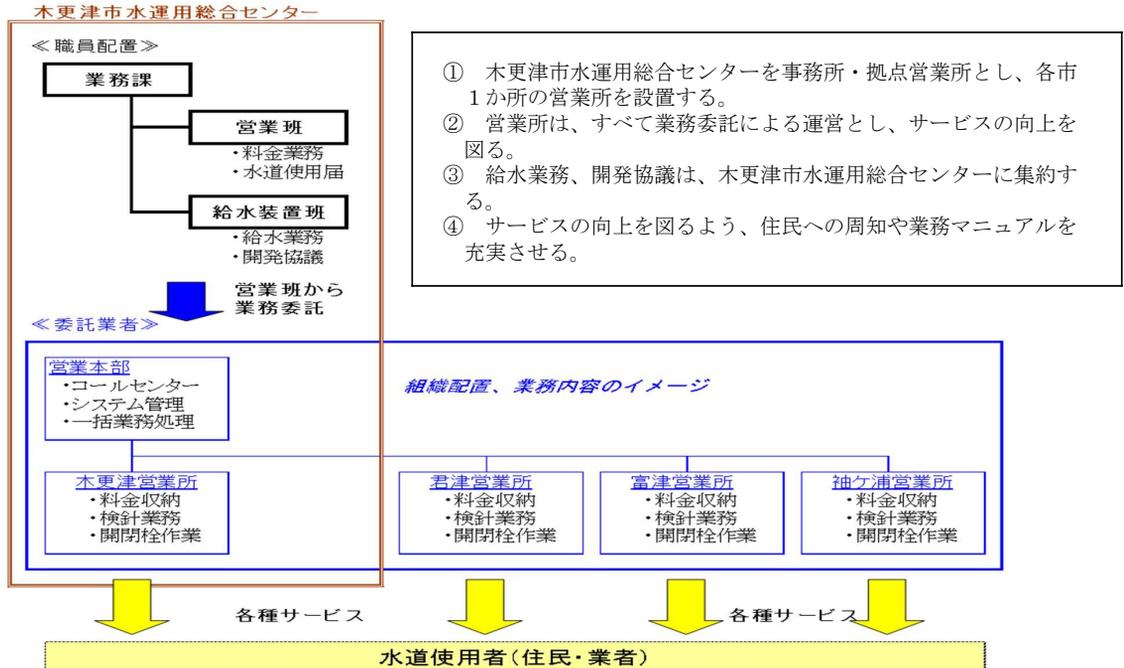
- ⇒ 事業統合により
 - 効率的な事業運営
 - 施設の統廃合による施設規模縮小



ケース	実績		推計値					ピーク
	H27	H30	H35	H40	H45	H50		
一日最大給水量 ケース1	122,905	133,535	132,161	127,578	122,667	116,429	H30 133,535	
一日平均給水量 ケース1	109,051	112,709	111,710	107,952	103,899	99,221	H30 112,709	
一日平均給水量 ケース2	109,051	107,104	102,761	96,420	90,602	84,886	H27 107,104	
有収水量 ケース1	91,412	94,754	95,391	94,218	91,895	88,648	H34 95,393	
有収水量 ケース2	91,412	90,373	87,816	84,206	80,129	75,867	H27 91,412	

ケース1：開発要因を見込む。 ケース2：開発要因を見込まない。

8 事務所・営業所



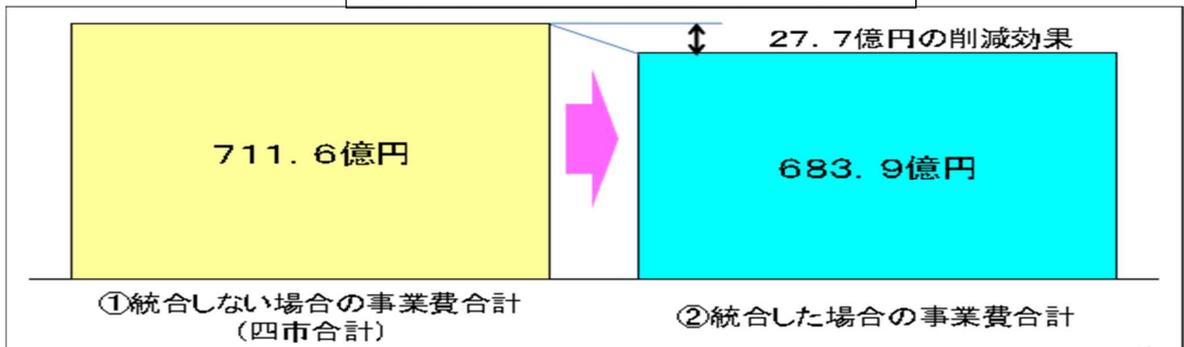
- ① 木更津市水運用総合センターを事務所・拠点営業所とし、各市1か所の営業所を設置する。
- ② 営業所は、すべて業務委託による運営とし、サービスの向上を図る。
- ③ 給水業務、開発協議は、木更津市水運用総合センターに集約する。
- ④ サービスの向上を図るよう、住民への周知や業務マニュアルを充実させる。

9

9 施設整備による効果

- ①更新事業費の削減 ⇒ 施設の統廃合により27.7億円の更新事業費を削減
将来にわたり、さらに削減が見込まれる。
- ②老朽管・施設の更新 ⇒ 有効率の向上(H27:88.4%→H50:93.6%)
- ③施設の耐震化の向上 ⇒ 配水池の耐震化率(H27:19.2%→H50:96.7%)
- ④企業団の事業の一部に交付金が活用できる。⇒ 対象事業費56.3億円
(交付金18.8億円)

施設の統廃合による効果(20年間)



10

10 財政シミュレーション

(1) 交付金の額（見込値） 平成31～40年度に四市112億円、企業団に18.8億円を見込む。

H31～50年度の交付金見込額

交付金額	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	小計	企業団	合計
H31-40	49.5	32.5	16.1	13.9	112.0	18.8	130.8
H41-50	0.8	1.4	0.6	0.0	2.8	0.0	2.8

※富津市の拡張事業費にかかる補助金(H31-40:3.6億円、H41-50:3.8億円)は外数。交付率47.5%(国40%、県7.5%)

(2) 用水供給事業の受水費 平成31～平成50年度(20年間)で受水費は26.5億円の削減となる。

用水供給事業の受水費

		H31～40	H41～50	合計
受水費 (億円)	単独事業(A)	591.2	624.6	1,215.8
	統合事業(B)	575.4	613.9	1,189.3
	効果(B)-(A)	▲15.8	▲10.7	▲26.5

(3) 出資金の調整

統廃合事業に係るものは、出資額を配水量按分とした。その他管路事業等は、債務と将来の投資を考慮し、現状の企業債残高と今後の管路更新事業費による差分を事業規模に応じて出資するものとした。

なお、これらの平成40年度までの出資金拠出にあたっては、債務負担行為を設定するものとした。

四市	施設整備水準 (H27)			経営基盤 (H27)			出資金	
							H31-40	H41-50
木更津市	老朽管の割合	42%	低い	企業債残高	87.6億円	良	7.8億円	1.0億円
	配水池の耐震化率	8%		企業債比率	261%			
君津市	老朽管の割合	56%	低い	企業債残高	62.2億円	要改善	34.4億円	1.9億円
	配水池の耐震化率	0%		企業債比率	324%			
富津市	老朽管の割合	49%	低い	企業債残高	46.9億円	要改善	30.6億円	0.8億円
	配水池の耐震化率	12%		企業債比率	360%			
袖ヶ浦市	老朽管の割合	11%	高い	企業債残高	72.2億円	要改善	9.9億円	0.0億円
	配水池の耐震化率	100%		企業債比率	528%			
計							82.7億円	3.7億円

※1)富津市の拡張事業にかかる出資金(H31-40:2.5億円、H41-50:2.7億円)は外数
 ※2)平成41年度以降は、耐震化事業に対する交付金であり、交付金制度等の状況を確認したうえで出資の拠出を協議するものとする。ただし、袖ヶ浦市は既に耐震化が完了していることから出資をしないものとする。

11

11 財政シミュレーションの結果

- ① 費用面での効果 ⇒ 統合しない場合と比較して年平均10.9億円の費用削減
(人件費・委託料△2.4億円、企業債支払利息△2.9億円 など)
- ② 交付金・出資金等の効果 ⇒ 交付金や出資金により事業費の財源が確保できる。
その結果、平成40年度における企業債残高は、単独事業よりも四市170.6億円、企業団2億円の低減
- ③ 料金面での効果 ⇒ 統合しない場合と比較して四市すべてにおいて料金は安くなる。
木更津市：現行料金を10年間据置、他三市：料金改定幅抑制

水道料金の比較 平成40年度

単位：円

団体	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市
統合料金(A)	3,900	4,262	5,152	4,214
単独料金(B)	4,317	5,056	6,389	4,692
比較(A-B)	▲417	▲794	▲1,237	▲478

水道料金の比較 平成50年度

単位：円

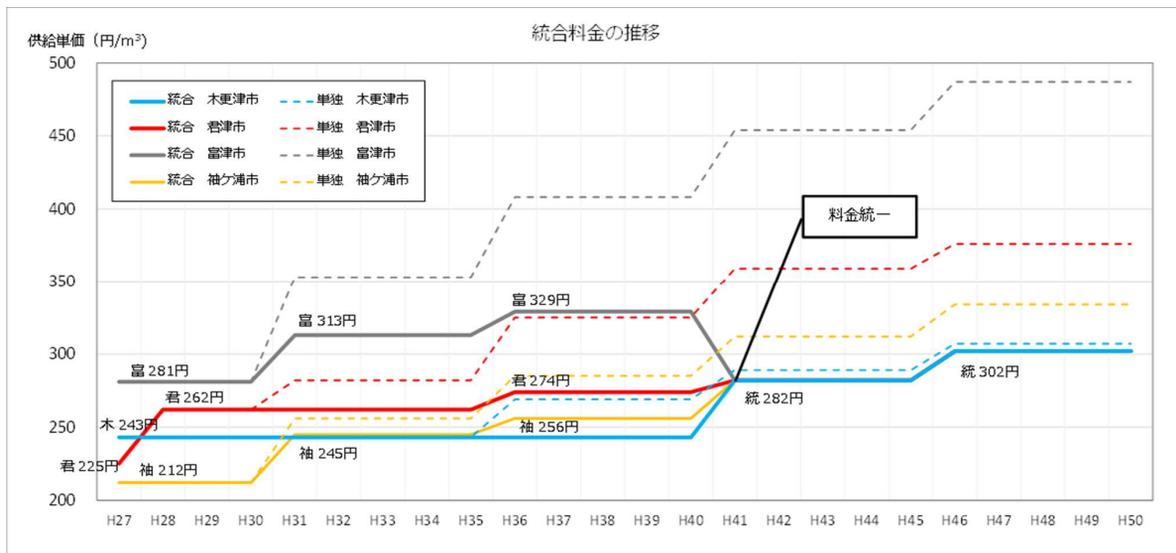
団体	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市
統合料金(A)	4,847	4,847	4,847	4,847
単独料金(B)	4,927	5,849	7,626	5,498
比較(A-B)	▲80	▲1,002	▲2,779	▲651

※口径20mmで1か月に20㎡使用した場合の水道料金

12

1 2 水道料金の統一

- ① 平成41年度に四市水道料金の統一を目標とする。
- ② 料金統一までの期間は市域別に料金を設定することとし、市域毎のセグメント別に会計を行う。



※供給単価(円/m³)有収水量1m³当たりでどれだけ収益を得ているかを示す=給水収益÷有収水量

1 3 今後のスケジュール

以下のスケジュールを目標に準備を進める。

目 標	① 広域連合設立	平成31年 1月
	② 事業統合	平成31年 4月
	③ 交付金事業期間	平成31～40年度

14 まとめ

四市の現状の課題と統合の効果

現状の課題		統合の効果																																																																																																								
施設 (モノ) (1) 袖ヶ浦市を除く三市は、老朽管の割合が50%前後と高く、有効率も90%に達していない。 (2) 石綿セメント管は君津市、富津市で234km残存 (H27実績) (参考 H26実績における延長長の全国順位: 君津市 第2位、富津市 第3位) (3) 配水池の耐震化が袖ヶ浦市を除き進んでいない。 四市の施設の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目※H27実績</th> <th>木更津市</th> <th>君津市</th> <th>富津市</th> <th>袖ヶ浦市</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>老朽管の割合</td> <td>42.4%</td> <td>56.2%</td> <td>49.2%</td> <td>11.2%</td> <td>42.0%</td> </tr> <tr> <td>石綿セメント管</td> <td>28km</td> <td>119km</td> <td>115km</td> <td>22km</td> <td>284km</td> </tr> <tr> <td>塩ビ・鉄管</td> <td>407km</td> <td>353km</td> <td>114km</td> <td>35km</td> <td>909km</td> </tr> <tr> <td>有効率</td> <td>87.4%</td> <td>86.6%</td> <td>88.0%</td> <td>93.5%</td> <td>88.4%</td> </tr> <tr> <td>配水池の耐震化率</td> <td>8.2%</td> <td>0.0%</td> <td>11.5%</td> <td>100.0%</td> <td>19.2%</td> </tr> </tbody> </table> ※老朽管は、耐震性の低い石綿セメント管、塩ビ・鉄管、普通鉄管とされた。 ※一部に法定耐用年数を経過していない管を含む。	項目※H27実績	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	合計	老朽管の割合	42.4%	56.2%	49.2%	11.2%	42.0%	石綿セメント管	28km	119km	115km	22km	284km	塩ビ・鉄管	407km	353km	114km	35km	909km	有効率	87.4%	86.6%	88.0%	93.5%	88.4%	配水池の耐震化率	8.2%	0.0%	11.5%	100.0%	19.2%	安定給水の危機	統合 (一元管理) ・施設の統廃合 ・統合交付金の活用 ・出資金 (交付税措置有)	強靱な水道の実現 (1) 老朽管・施設の更新 → 有効率、有効率の向上 (2) 四市の施設整備水準の向上、均一化 (3) 管路及び配水池の耐震化が加速 (4) 緊急時の水道用水の確保 平成50年度の状況(シミュレーション) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>木更津市</th> <th>君津市</th> <th>富津市</th> <th>袖ヶ浦市</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>老朽管の割合</td> <td>0.0%</td> <td>16.0%</td> <td>14.8%</td> <td>0.0%</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>石綿セメント管</td> <td>0km</td> <td>0km</td> <td>0km</td> <td>0km</td> <td>0km</td> </tr> <tr> <td>塩ビ・鉄管</td> <td>0km</td> <td>134km</td> <td>68km</td> <td>0km</td> <td>202km</td> </tr> <tr> <td>有効率</td> <td>95.0%</td> <td>91.3%</td> <td>90.8%</td> <td>95.0%</td> <td>93.6%</td> </tr> <tr> <td>配水池の耐震化率</td> <td>100.0%</td> <td>90.6%</td> <td>94.5%</td> <td>100.0%</td> <td>96.7%</td> </tr> </tbody> </table> 交付金事業期間の四市の事業費 (年あたり) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>木更津市</th> <th>君津市</th> <th>富津市</th> <th>袖ヶ浦市</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付期間平均</td> <td>17.1億円</td> <td>11.9億円</td> <td>6.5億円</td> <td>6.3億円</td> <td>41.8億円</td> </tr> <tr> <td>過去5ヶ年平均</td> <td>11.8億円</td> <td>8.6億円</td> <td>3.2億円</td> <td>5.0億円</td> <td>28.6億円</td> </tr> <tr> <td>倍率</td> <td>1.45倍</td> <td>2.13倍</td> <td>2.03倍</td> <td>1.26倍</td> <td>1.63倍</td> </tr> </tbody> </table> ※富津市広運事業分を含まない。	項目	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	合計	老朽管の割合	0.0%	16.0%	14.8%	0.0%	7.1%	石綿セメント管	0km	0km	0km	0km	0km	塩ビ・鉄管	0km	134km	68km	0km	202km	有効率	95.0%	91.3%	90.8%	95.0%	93.6%	配水池の耐震化率	100.0%	90.6%	94.5%	100.0%	96.7%	項目	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	合計	交付期間平均	17.1億円	11.9億円	6.5億円	6.3億円	41.8億円	過去5ヶ年平均	11.8億円	8.6億円	3.2億円	5.0億円	28.6億円	倍率	1.45倍	2.13倍	2.03倍	1.26倍	1.63倍							
項目※H27実績	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	合計																																																																																																					
老朽管の割合	42.4%	56.2%	49.2%	11.2%	42.0%																																																																																																					
石綿セメント管	28km	119km	115km	22km	284km																																																																																																					
塩ビ・鉄管	407km	353km	114km	35km	909km																																																																																																					
有効率	87.4%	86.6%	88.0%	93.5%	88.4%																																																																																																					
配水池の耐震化率	8.2%	0.0%	11.5%	100.0%	19.2%																																																																																																					
項目	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	合計																																																																																																					
老朽管の割合	0.0%	16.0%	14.8%	0.0%	7.1%																																																																																																					
石綿セメント管	0km	0km	0km	0km	0km																																																																																																					
塩ビ・鉄管	0km	134km	68km	0km	202km																																																																																																					
有効率	95.0%	91.3%	90.8%	95.0%	93.6%																																																																																																					
配水池の耐震化率	100.0%	90.6%	94.5%	100.0%	96.7%																																																																																																					
項目	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	合計																																																																																																					
交付期間平均	17.1億円	11.9億円	6.5億円	6.3億円	41.8億円																																																																																																					
過去5ヶ年平均	11.8億円	8.6億円	3.2億円	5.0億円	28.6億円																																																																																																					
倍率	1.45倍	2.13倍	2.03倍	1.26倍	1.63倍																																																																																																					
管理体制 (ヒト) (1) ベテラン職員の退職や一般部局との煩雑な人事異動等により、水道に関する技術の確保や継承が困難である。 (2) 適正な維持管理、更新事業を実施するための人材確保 (技術者) が必要である。 3業職員数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>木更津市</th> <th>君津市</th> <th>富津市</th> <th>袖ヶ浦市</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度※</td> <td>27人</td> <td>22人</td> <td>17人</td> <td>19人</td> <td>79人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業分を含まず実質的な職員	項目	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	合計	平成28年度※	27人	22人	17人	19人	79人	技術継承の危機	・専門技術者の確保 ・管理水準の統一	高品質なサービス (1) 専門技術の継承 (2) 効率的な維持管理の実現 (3) 危機管理能力の向上 (4) サービス水準の向上、均一化 ・広域連合の設立 ・木更津市水道用総合センターへの職員集約 ・大牟田浄水場管理棟への集中監視設備の集約 3業職員数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>木更津市</th> <th>君津市</th> <th>富津市</th> <th>袖ヶ浦市</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成40年度</td> <td>20人</td> <td>13人</td> <td>7人</td> <td>9人</td> <td>49人</td> </tr> </tbody> </table> 統合後に必要な人材を確保したうえで、職員の集約等により人員削減を図るものとした。	項目	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	合計	平成40年度	20人	13人	7人	9人	49人																																																																															
項目	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	合計																																																																																																					
平成28年度※	27人	22人	17人	19人	79人																																																																																																					
項目	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	合計																																																																																																					
平成40年度	20人	13人	7人	9人	49人																																																																																																					
料金費用財源 (カネ) (1) 現水道料金を維持する場合、木更津市を除く三市は、数年以内に赤字になると予測される。 (2) 経営の健全化を図るため、料金の引き上げや一般会計からの助成等が必要となる見込みである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">H27(決算) 収益的収支</th> <th colspan="2">H40(見直し) 収益的収支</th> </tr> <tr> <th>収入</th> <th>支出</th> <th>収入</th> <th>支出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木更津市</td> <td>36.7億円</td> <td>53.3億円</td> <td>4.4億円</td> <td>39.9億円</td> <td>39.1億円</td> <td>▲0.1億円</td> </tr> <tr> <td>君津市</td> <td>21.8億円</td> <td>21.4億円</td> <td>0.4億円</td> <td>21.2億円</td> <td>23.4億円</td> <td>▲2.2億円</td> </tr> <tr> <td>富津市</td> <td>15.0億円</td> <td>14.8億円</td> <td>0.2億円</td> <td>12.4億円</td> <td>17.0億円</td> <td>▲4.6億円</td> </tr> <tr> <td>袖ヶ浦市</td> <td>18.6億円</td> <td>18.7億円</td> <td>▲0.1億円</td> <td>17.5億円</td> <td>19.6億円</td> <td>▲2.1億円</td> </tr> </tbody> </table> ※現在の水道料金を維持し、各市の建設改良事業を考慮して試算した結果である。	項目	H27(決算) 収益的収支		H40(見直し) 収益的収支		収入	支出	収入	支出	木更津市	36.7億円	53.3億円	4.4億円	39.9億円	39.1億円	▲0.1億円	君津市	21.8億円	21.4億円	0.4億円	21.2億円	23.4億円	▲2.2億円	富津市	15.0億円	14.8億円	0.2億円	12.4億円	17.0億円	▲4.6億円	袖ヶ浦市	18.6億円	18.7億円	▲0.1億円	17.5億円	19.6億円	▲2.1億円	経営の危機	・施設の統廃合 ・庁舎の集約 ・組織のスリム化 ・委託の集約・拡充 ・統合交付金の活用 ・出資金 (交付税措置有)	将来の料金引き上げ幅を抑制 (1) 人員の削減と事務の効率化によるコスト抑制 3業費用の統合後20年間(H31-50)の年平均削減額 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>木更津市</th> <th>君津市</th> <th>富津市</th> <th>袖ヶ浦市</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費・委託費</td> <td>▲1.1億円</td> <td>▲0.2億円</td> <td>▲0.7億円</td> <td>▲0.4億円</td> <td>▲2.4億円</td> </tr> <tr> <td>その他(支払利息等)</td> <td>▲3.1億円</td> <td>▲2.7億円</td> <td>▲1.5億円</td> <td>▲1.2億円</td> <td>▲8.5億円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>▲4.2億円</td> <td>▲2.9億円</td> <td>▲2.2億円</td> <td>▲1.6億円</td> <td>▲10.9億円</td> </tr> </tbody> </table> (2) 施設の統廃合により、20年間で施設整備費27.7億円の削減効果 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>木更津市</th> <th>君津市</th> <th>富津市</th> <th>袖ヶ浦市</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単独の場合①</td> <td>288.2億円</td> <td>200.5億円</td> <td>129.0億円</td> <td>93.9億円</td> <td>711.6億円</td> </tr> <tr> <td>統合の場合②</td> <td>263.2億円</td> <td>187.8億円</td> <td>119.0億円</td> <td>93.4億円</td> <td>663.4億円</td> </tr> <tr> <td>②-①</td> <td>▲25.0億円</td> <td>▲12.7億円</td> <td>▲10.0億円</td> <td>▲0.5億円</td> <td>▲47.7億円</td> </tr> </tbody> </table> (3) 財源の確保 ・統合交付金・出資金 (いずれも事業費の1/3を上限) ・統合交付金対象期間に事業費を集中的に配分 統合20年間の統合交付金・出資金(シミュレーション) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>木更津市</th> <th>君津市</th> <th>富津市</th> <th>袖ヶ浦市</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>統合交付金</td> <td>60.3億円</td> <td>33.9億円</td> <td>16.7億円</td> <td>13.9億円</td> <td>114.8億円</td> </tr> <tr> <td>出資金</td> <td>8.8億円</td> <td>36.3億円</td> <td>31.4億円</td> <td>9.9億円</td> <td>86.4億円</td> </tr> </tbody> </table> ※富津市広運事業分を含まない。	項目	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	合計	人件費・委託費	▲1.1億円	▲0.2億円	▲0.7億円	▲0.4億円	▲2.4億円	その他(支払利息等)	▲3.1億円	▲2.7億円	▲1.5億円	▲1.2億円	▲8.5億円	計	▲4.2億円	▲2.9億円	▲2.2億円	▲1.6億円	▲10.9億円	項目	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	合計	単独の場合①	288.2億円	200.5億円	129.0億円	93.9億円	711.6億円	統合の場合②	263.2億円	187.8億円	119.0億円	93.4億円	663.4億円	②-①	▲25.0億円	▲12.7億円	▲10.0億円	▲0.5億円	▲47.7億円	項目	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	合計	統合交付金	60.3億円	33.9億円	16.7億円	13.9億円	114.8億円	出資金	8.8億円	36.3億円	31.4億円	9.9億円	86.4億円
項目		H27(決算) 収益的収支		H40(見直し) 収益的収支																																																																																																						
	収入	支出	収入	支出																																																																																																						
木更津市	36.7億円	53.3億円	4.4億円	39.9億円	39.1億円	▲0.1億円																																																																																																				
君津市	21.8億円	21.4億円	0.4億円	21.2億円	23.4億円	▲2.2億円																																																																																																				
富津市	15.0億円	14.8億円	0.2億円	12.4億円	17.0億円	▲4.6億円																																																																																																				
袖ヶ浦市	18.6億円	18.7億円	▲0.1億円	17.5億円	19.6億円	▲2.1億円																																																																																																				
項目	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	合計																																																																																																					
人件費・委託費	▲1.1億円	▲0.2億円	▲0.7億円	▲0.4億円	▲2.4億円																																																																																																					
その他(支払利息等)	▲3.1億円	▲2.7億円	▲1.5億円	▲1.2億円	▲8.5億円																																																																																																					
計	▲4.2億円	▲2.9億円	▲2.2億円	▲1.6億円	▲10.9億円																																																																																																					
項目	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	合計																																																																																																					
単独の場合①	288.2億円	200.5億円	129.0億円	93.9億円	711.6億円																																																																																																					
統合の場合②	263.2億円	187.8億円	119.0億円	93.4億円	663.4億円																																																																																																					
②-①	▲25.0億円	▲12.7億円	▲10.0億円	▲0.5億円	▲47.7億円																																																																																																					
項目	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	合計																																																																																																					
統合交付金	60.3億円	33.9億円	16.7億円	13.9億円	114.8億円																																																																																																					
出資金	8.8億円	36.3億円	31.4億円	9.9億円	86.4億円																																																																																																					